



北原荘 タナカより

第94号

2023.1

編集発行 特別養護老人ホーム
北原荘〒966-0902 喜多方市松山町村松字北原3656-11
電話 0241-24-4567代 <http://www.tenshinkai.or.jp>

新年あけましておめでとうございます。
皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイル感染の波は依然として大きく、予断を許さない状況が続いておりますが、ご家族を始め皆様には施設運営へのご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍にあっても、季節行事やドライブ、外出支援等人とのつながりを大切にした心豊かな施設生活を目指してきました。また、トイレでの排泄等自立支援、尊厳あるケアに取り組んできました。

北原荘は、昭和五十八年四月一日、地域の高齢者介護を担う特別養護老人ホームとして開設され、今年四十周年を迎えます。開設以来、当施設は一貫して「ご利用者のための施設、地域に開かれた施設づくり」に取り組んできました。

今年の干支は癸卯。「冬の門が開き、飛び出る」という縁起のよい年だそうです。今年も職員一同「利用者本位のケア」「地域福祉の向上」に取り組んで参りますので、昨年同様ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



施設長

年頭のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。
皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイル感染の波は依然として大きく、予断を許さない状況が続いておりますが、ご家族を始め皆様には施設運営へのご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

十二月二十三日に、一日早いクリスマス会を開催しました。職員の演奏するハンドベルに合わせて、利用者の皆さんが「きよしこの夜」を合唱。ビンゴゲームでは、数字がそろうと「やつた!」と声を弾ませておられました。

家族会からは、皆さんのかきな時代劇のDVDなどをプレゼントとしてお贈りし、サンタクロースに扮した施設長よりお渡ししました。

昼食はクリスマスの特別メニューで皆さんに喜んで頂くことができました。

クリスマス会



防災訓練

防災訓練



近年は自然災害が頻発しているため、九月二十一日の防災訓練では、夜間の停電に備えて、スプリンクラー用の発電機から非常用電源を取る方法について学習会を行いました。

夜勤に従事する介護員が、①ドラムを準備、②非常口の警報を解除、③発電機を作動、④ドラムのコンセントを差し込む—という手順を確認しました。

在宅酸素や吸引器の使用など、電源の確保は利用者様の生命維持のために必要不可欠となります。大雨や台風など気象予報によって備えられる災害もあれば、地震など予測不能な災害もあるため、どの職員であっても対応できるようにしておきたいと思います。

芋煮会



十一月二日、芋煮会を開催しました。

食堂にコンロを準備し、大きな鍋で調理しました。ご利用者様に野菜を切る作業を手伝って頂くと、最初は「うまく切れるかな」「久しぶりだ」と話されていましたが、いざ始まるとな手に包丁を使つておられました。

鍋で煮始めると食堂内に美味しそうな香りが漂い、「いい匂い」と楽しみにされる姿が…。出来上がった芋煮は昼食時に振る舞われ、皆さんおいしそうに召し上がるされました。



LIFE加算算定開始

国は科学的裏付け（エビデンス）に基づく介護＝科学的介護を推し進めるため、科学的介護情報システム（LIFE）の構築を進めています。これは、科学的に妥当性のある指標等を現場から収集、蓄積、分析し、その結果を現場にフィードバックすることで、さらなる科学的介護を推進しようとするものです。当施設も遅ればせながら、今年度に「LIFE推進委員会」を施設内に立ち上げ、介護福祉施設等向けの業務ソフト販売・サポート等を行う郡山市の㈱共栄ブレーン様のご協力により、昨年六月に勉強会を開催しました。その後、全部署においてデータ入力を開始し、十月分からデータを提出するとともに、介護報酬において「科学的介護推進体制加算II」及び「個別機能訓練加算II」の算定を開始した次第です。

当施設では、かねてより栄養ケアマネジメント、褥瘡対策などにも取り組んできただめ、今後さらに提出できるデータを増やせるものと思われ、体制が整い次第、着手していく予定です。



介護ロボット紹介

「介護ロボット」と聞いて、皆さんはどのような物を想像しますか？人間のように動くロボットが、利用者様を抱えて車いすに乗せてくれたり、歩行に付き添つて転倒を防いでくれたり…さらにはそばにいてずっと話を聞いてくれるようなものを想像される方もいらっしゃるかもしれません。

今回、福祉用具を取り扱う郡山市の㈱あかね福祉様から介護ロボット「移乗です」をお借りしました。一見、「ロボット？」と思われるかもしれませんが、介護従事者の負担軽減を図る動力がある、れっきとしたロボットなのです。写真を見て頂いてもわかるように、利用者様に触ることなく車いすから移動することができます。正直、宙に浮いているうえ、支えが少なくて、見ている方は怖く感じますよね？でも、協力頂いた利用者様は皆さん、「怖くない」とおっしゃっていました。

スタッフの腰痛予防、負担軽減を目的に導入を検討しましたが、利用者様の「大変かもしれないけど、やっぱり人にやつてもらいたい」という言葉が聞かれたことや、対象になる方が限られるため、今回は導入には至りませんでした。しかし、介護の現場は身体的負担が大きいのは事実です。これからも利用者様、スタッフ双方にとって有益な介護ロボットを試しながら、みんなが笑顔になる介護を目指していきたいと思います。



野菜の寄贈



以前当施設に入所されていたご利用者様のご家族である、猪苗代町の関沢好春様、裕子様ご夫妻より、たくさんの白菜、大根のご寄付を頂戴しました。

実は今回が初めてではなく、毎年11月になると、豊かな土壌で立派に育った野菜を自動車いっぱいに積み込んで、お二人揃って喜多方まで届けてくださっているのです。

ご利用者様がお亡くなりになられてから八年余りが経過しますが、現在でも当施設とのつながりを大切にして頂けることが私たち職員の励みになっております。

この場をお借りし、関沢様ご夫妻に心より感謝を申し上げます。



給食より



当施設では、大晦日のお昼に年越しそば、1月1日のお昼におせち料理を利用者の皆さんに召し上がって頂きました。

おせちメニュー



- ・赤飯
- ・正月盛り合わせ
伊達巻、鮭の昆布巻き、紅白かまぼこ、青豆数の子、ほうれん草のお浸し
- ・ぜんまいの煮つけ
- ・四季の和菓子（雪花うさぎ）

硬いものが召し上がれない方には、ソフト食をご用意し、舌で潰せるよう対応させて頂きました。

今年も利用者様に喜んで頂けるような、おいしい食事を提供していきたいと思います。

職員永年勤続表彰

老人福祉及び介護サービス施設における在籍期間が通算十五年以上の功績のある者に贈られる「公益社団法人全国老人福祉施設協議会」十五年表彰について、本年度は三名の職員が該当になりました。

福祉・介護分野の離職や人手不足は大きな社会問題になっていますが、本年度は全国で二千六百六十八名の職員が同表彰を受けたそうです。これまでの経験を生かし、間もなく迎える超高齢社会の支え手として活躍する職員がより一層増えることを願うばかりです。

★当施設の受賞者

副施設長兼生活相談課長 渡部由希子
副主任看護職員 猪俣 緑
副主任介護員 小檜山香奈子



上三宮小鼓笛隊

十月二十六日、喜多方市立上三宮小学校の十三人の児童の皆さんによる鼓笛隊訪問演奏が行われました。

「校歌」「パプリカ」の演奏に

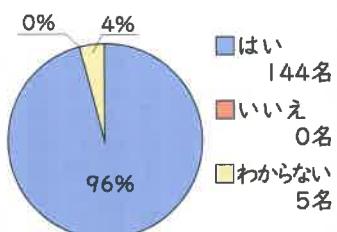
対し、ご利用者様からは「かっこいいよー」などの声援が上がり、

手拍子をしながら聴き入る方、感激して涙を流される方もおられました。

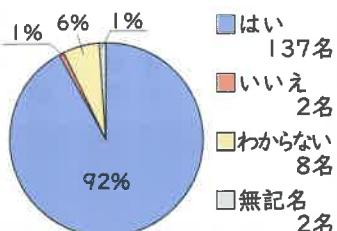
ご利用者様のお一人は、引率の先生から「小学校の恩師です」と声を掛けられ、思わず再会を果たしておられました。
児童の皆さん、元気をくださいって、ありがとうございます。
ぜひまたお越しくださいね。



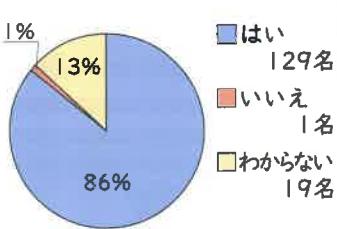
- ◆担当ケアマネジャーはきちんとした言葉使いで対応できていますか。



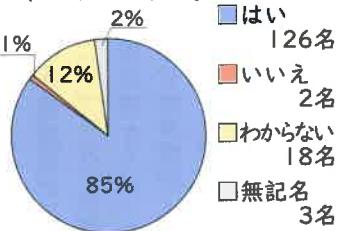
- ◆担当ケアマネジャーは何でも相談しやすいですか。親身になって話を聞いてくれますか。



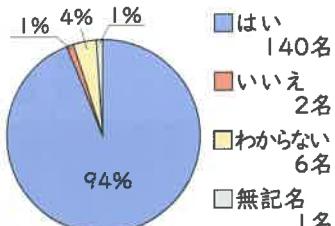
- ◆介護保険サービスの内容や料金について、説明はわかりやすいですか。



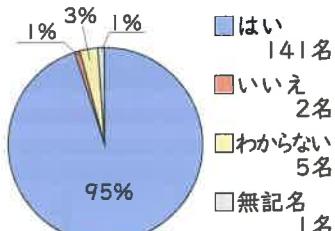
- ◆担当ケアマネジャーは知人や友人等に紹介ができるケアマネジャーですか。



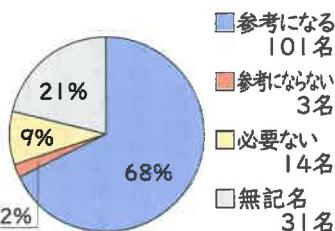
- ◆担当ケアマネジャーは訪問時間など約束したことを守っていますか。



- ◆担当ケアマネジャーとの連携はスムーズにとれていますか。



- ◆認知症通信を2ヶ月に1回配布していますが、感想をお聞きしたいと思います。



新年明けましておめでとうございます。
当事業所では、毎年アンケートを実施し、利用者様本位のサービスにつなげております。
新型コロナ感染予防のため、訪問時間を短くしておりましたが、本年度のアンケートのなかで、「ケアマネジャーともっとゆっくり話がしたい」とのうれしいご意見を多く頂きました。
飛躍の年となるうさぎ年、より高みを目指して職員一同、がんばってまいります。
左記がアンケートの結果です。

北原荘居宅介護支援センター



居室担当介護員より

新年もよろしくお願ひいたします。
最近のご様子をお知らせいたします。

様のご家族様へ

編集後記

令和五年、新しい年を迎えた。十二支は卯、干支は癸卯という年だそうで、意味は色々あるようですが、「これまでの努力が花開き、実り始める年」なのだそうです。新型コロナウイルス感染症、緊迫した世界情勢、物価高騰など不安な日々が続いておりますが、皆の努力と願いが叶い、軽やかに跳ね進む明るい年になることを願うばかりです。本年もどうぞよろしくお願い申上げます。



号室担当

より